

事例・教材 リスさんのさがしもの ～ 「どこにかくした?」「どっちにあるかな?」

狙い・ターゲット： 場所をきく疑問詞を知ろう！（疑問詞の使い方）  
どこに隠したか覚えておこう！（記憶する力）



|        |  |
|--------|--|
| 目的     | 場所をきく疑問詞の使用と、場所や位置を相手に伝える方法を知ろう！<br>記憶の容量を広げよう   |
| 使用教材   | <ul style="list-style-type: none"><li>・リスのぬいぐるみ（子どもの興味を引くため。なくても可）</li><li>・ドングリ数個（フェルトで手作りしました）</li><li>・隠すための箱（牛乳パックでもお菓子の箱でも！ドングリを隠せる窪みがあるもの）</li></ul>   |
| 内容、方法  | <ol style="list-style-type: none"><li>1) リスさんが冬支度しています。ドングリを隠します。</li><li>2) 「さて、冬になりました。ドングリをどこに隠したっけ？」と言って子どもに当ててもらいましょう。</li><li>3) 3つ以上の箱の中から「どこにあるかな？」と言うのが記憶の問題などで難しいときは2つの箱だけにして「どっちに隠したっけ？」から開始してもいいです。</li></ol>  |
| 方法（補足） | <ul style="list-style-type: none"><li>・この遊びでは3色の箱を用意したので、色で言ってもらってもいいし、箱に番号を付けて「何番！」と答えてもらうのもあります。木やお花など（画像では木と卵を使っています）を配置すれば、「木の後ろ」「木の横」「卵の前」「卵の隣り」などの表現を促すことも出来ます。</li><li>・応用編では、3つ以上の箱のうち2カ所に隠して「どことどこに隠したかな？」<br/>ちょっと数が分かる大きいお子さんには「3個隠したのはどの箱かな?」「1個隠したところはどこ?」「青い箱には何個あるかな」「何も隠してない箱はどれだっけ?」と質問の仕方や応じ方も広げることができます。</li></ul> <p>では宝探し気分でお子さんと楽しく遊んで下さい！</p> |